

アドバンス・ケア・プランニング Part II

生命を脅かす病と共に生きる人との対話 — 実践を振り返り、次のステップへ —

2019年2月16日(土) 10時-17時 懇親会18:30~
17日(日) 9時-16時

会場：ピースハウスホスピス教育研究所 (裏面参照)



通訳付

本ワークショップは、1993年に第1回を開催し、日本のホスピス緩和ケアが直面しているあるいは将来を見据えたさまざまな課題を取上げて開催してきました。前回(第25回)は、「アドバンス・ケア・プランニング—いのちの終わりについて話し合いを始める」をテーマにオーストラリアから講師を招聘し開催しました。今回は昨年のテーマを引き継ぎ、もう一步踏み込んで、生命を脅かす重篤な病に罹患した患者・家族との対話に焦点をあてていきたいと思えます。深刻な問題に直面し、不安、恐怖、混乱の中にある中でこれからのことを決めていかなければいけない、そのとき、一人ひとりが持つ価値観や希望を尊重した対話をどのように進めていくのか。

米国で“Serious Illness Care Program”に取り組んでいるお二人の講師、また、日本から木澤先生、森先生をお迎えし、米国のプログラムをご紹介いただいた後、ご参加の皆様、それぞれの臨床現場での実践、ご経験も共有していただきながら、次のステップへ歩みを進める機会になればと願っています。

皆さまのご参加をお待ちしています。

◆ 講師



Rachelle Bernacki, MD

Director, Quality Initiatives, Department of Psychosocial Oncology and Palliative Care, Dana-Farber Cancer Institute
Assistant Professor, Harvard Medical School
Associate Director, the Serious Illness Care Program, Ariadne Labs

精神腫瘍学、緩和ケア、老年医学等の分野で、教育・研究に携り、国際的に活躍。Ariadne Labsの緩和ケア専門家チームによって開発された、重篤な病に罹患した患者・家族と医療専門職との対話、“Serious Illness Care Program”の教育、実践に取り組んでいる。患者・家族とのコミュニケーションをウェブサイト学ぶプログラム“Vital Talk”の開発・指導、重篤な病に罹患した患者のケアの質の向上に向けたトレーニングなどでリーダーシップを発揮し、保健医療の発展に貢献。老年医学における功労賞なども受賞。



Elise C. Carey, MD, FAAHPM, FACP

Associate Professor of Medicine, Mayo Clinic, Rochester, Minnesota, USA

サンフランシスコVAメディカルセンターで緩和ケアコンサルティングサービスを構築した後、メイヨー・クリニックの緩和ケアプログラムに参加。院内・外の患者への24時間体制のケアの提供、緩和ケアのフェロシッププログラムを確立し、教育委員長を務めている。プログラム開発や教育への貢献に対してHastings Center Cunniff-Dixon Physician Award 他、多くの賞を受賞。全米ホスピス緩和ケア協会でも重要な役割を果たし、全国の医師を対象とするコミュニケーションや教育技法に関するトレーニングにリーダーシップを発揮し、緩和ケアの研究にも精力的に取り組んでいる。

プログラム

第1日目 “Serious Illness Conversation Guide”を学ぶ

- ・ Serious Illness Conversation Guide とは
- ・ 患者・家族にとっての意味、有効性に関するエビデンス
- ・ 重篤な病を持つ患者との対話を改善していくためには
- ・ 本ガイドを用いた対話の練習と振り返り

第2日目 患者・家族との対話の実践と向上

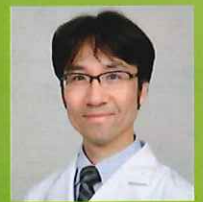
- ・ トレーニングから実践に向けての準備
- ・ 直面する困難、葛藤への気づき、それに対処するアプローチ
- ・ 患者とケア提供者の対話における感情的反応と認知的反応
- ・ 対話で困難を感じる患者に遭遇したとき、感情に対処する力
- ・ ワークショップを振り返り、次のステップへ

◆ ファシリテーター



木澤 義之先生

神戸大学医学部附属病院
緩和支援診療科 特命教授



森 雅紀先生

総合病院 聖隷三方原病院
緩和ケアチーム 医師

参加申込方法は裏面をご覧ください

募集要項

定員：80名

対象：医師・看護師・ソーシャルワーカー・薬剤師・栄養士・チャプレンなど
(チームによるご参加を歓迎いたします。)

参加費：一般 20,000円 ホスピス教育研究所会員 15,000円(税込み) ※2日間の昼食代を含みます。

申込方法：申込書にご記入の上、下記までファクスまたは郵便にてお送り下さい。

ホームページからも申し込めます。 <https://education.peacehouse.jp/>

受付後、参加証および入金方法・ホテル情報等を記載した参加案内書を10日以内に郵送します。

届かない場合は、ご面倒ですが、ご一報ください。

申込先：〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1

日野原記念ピースハウス病院内 ピースハウスホスピス教育研究所

TEL 0465-81-8904 FAX 0465-81-5521

入金方法：申込み受付後、振込口座に関するご案内をお送りいたします。

申込期限：2019年2月8日(金) 但し、定員になり次第締め切ります。

懇親会のご案内

第1日目終了後、講師を囲んで懇親会を開催いたします。申込み受付後、参加証とともに懇親会出欠を伺うハガキをお送りしますので、ご希望の方は事前にお申し込みください。

〈懇親会会場〉グランドホテル神奈中 秦野 スカイバンケット

〈日 時〉第一日目 2019年2月16日(土) 18:30より

〈懇親会費〉5,000円

宿泊のご案内

申込み受付後、参加証とともに宿泊手配希望の有無を伺うハガキをお送りします。宿泊を希望される場合は『グランドホテル神奈中秦野』にてご予約の手配をいたします。

〈宿泊費〉シングル1室 ￥7,650

ツイン1室2名利用 ￥13,950

(税込み・朝食はチェックイン時に申込、別料金)

〈送迎〉ホテル-会場間をシャトルバスが運行します。

交通のご案内

【公共交通】JR東海道線二宮駅または小田急線秦野駅下車タクシーで15分(適当なバス路線がない為タクシーをお勧めします)

【自家用車】・東名高速道路 秦野中井ICより10分

・小田原厚木道路 二宮ICより10分

・西湘バイパス 二宮ICより15分



日本 THE NIPPON 助成
財団 FOUNDATION

第26回ホスピス国際ワークショップ 参加申込書 FAX: 0465-81-5521

ふりがな				〒			
氏名	男	住 所	女	Tel :	()		
所属先	名称:			職種:			
	住所 〒			Tel :	()		
				Fax :	()		
勤務場所(〇印をつけて下さい) 1. 一般病棟 2. 緩和ケア病棟 3. 緩和ケアチーム 4. 在宅ケア 5. その他()							
メールアドレス							
参加証送付先	自宅・所属先 (〇印をつけて下さい)			ホスピス 教育研究所	会員・非会員 (〇印をつけて下さい)		